

まちおこしとしての「クラフトビール」 その可能性を熱く語る！

- 4月5日(日)、大田区蒲田にて、緊急シンポジウム開催、決定！
- 「東京ビアウィーク」協賛イベントとして話題彷彿！

- ・ 今、全国至るところで、おらが町、生まれた故郷に愛着を持つ気持ちから、さまざまな「まちおこし」の取り組みが起きています。「まちおこし」成功には、地元の地域資源にねぎした「地域ビジネス」の仕組みづくりが大切。
- ・ 今回、地域コミュニティづくり、クラフトビール作り、そして実際に取り組んでいる事例など、各分野の専門家をお招きして、それぞれのお立場から「まちおこしとしてのクラフトビールの可能性」を熱く語って頂きます。
- ・ 「クラフトビール醸造がまちおこしになぜ有効なのか？」「クラフトビールをまちおこしにどう活用すればいいのか？」そんなギモンにも答えます。
- ・ もちろん、クラフトビールのすばらしさ、楽しみ方を知りたい方にも、オススメの場、出会いと語らいの場です！

- 開催日:2015年4月5日(日) 午前11時~12時 (受付開始:10時40分)
- 会場:東京都大田区蒲田5丁目44-5 蒲田トーセイビル 1F
「スクエアズ カフェ 蒲田」 03-6424-8821
- 参加費 3,000円
シンポジウム終了後、「ランチバイキング+クラフトビール飲み放題」をお楽しみ頂けます。
- 定員:100名(先着順) 定員申込み完了次第、締め切らせて頂きます。
- お申し込み:事前に次のメールアドレス宛にご参加お申し込みください。
(お名前、お電話番号、メールアドレス)
スクエアズ カフェ 蒲田 メールアドレス:info@squares-cafe.jp



<司会>

○鈴木祐一郎氏:ピーエルジャパン株式会社 羽田ブルワリー 代表取締役。長年のブルワリー立ち上げ、クラフトビール醸造の経験を活かして、わが国で初めて、「マイクロブルワリー事業」の起業化支援、会員組織事業を行うビジネスを大田区内で立ち上げる。

<パネリスト>

○永沢 映氏: 特定非営利活動法人コミュニティビジネスサポートセンター 代表理事。近年、急激にコミュニティビジネス(CB)が目目される中、全国各地でのCBの事例調査、研究から実際に地域に入ってコーディネートや支援を展開。政府や東京都の施策の企画立案にも参画。

○山田聡昭氏: 株式会社酒文化研究所 第一研究室長。人と社会にとってよい酒のあり方を考え普及することを目指して酒文化研究所を設立。酒を造る人、売る人、楽しむ人、そして酒の世界のすべての人々と手を携えて豊かな酒文化をつくり出すため情報を積極的に発信。

○高野善松氏: 沼垂ビール株式会社 代表取締役。中小企業診断士。阿佐ヶ谷、中野、上野などの商店街大型施設事業立ち上げに従事。現在、羽田ブルワリーにてクラフトビール醸造を学び、故郷の新潟市沼垂(ぬつたり)にて、「まちおこしとして「発酵の町 沼垂ビール」事業を進める。沼垂は、かつて米の集積地。酒造、味噌、漬物、豆腐等製造が盛んな歴史。

○平林 寛氏: NPO法人大森まちづくりカフェ理事。ものづくり教育学習フォーラム推進委員。JR大森駅の商店街や大田区内のまちづくり活動に注力。熱いスタンスで周りを巻き込む。「クラフトビール」を使った地元大田区のまちおこしに、その可能性を強く感じる。



【羽田ブルワリー 仕込み風景】



【羽田ブルワリー製ペールエール】



【スクエアズカフェ蒲田 店内】